地球に水はどれくらいあるの？

画像：Howard Perlman, USGS; globe illustration by Jack Cook, Woods Hole Oceanographic Institution (©); Adam Nieman.

表面は水におおわれているけれど集めてみると意外に少ない!?

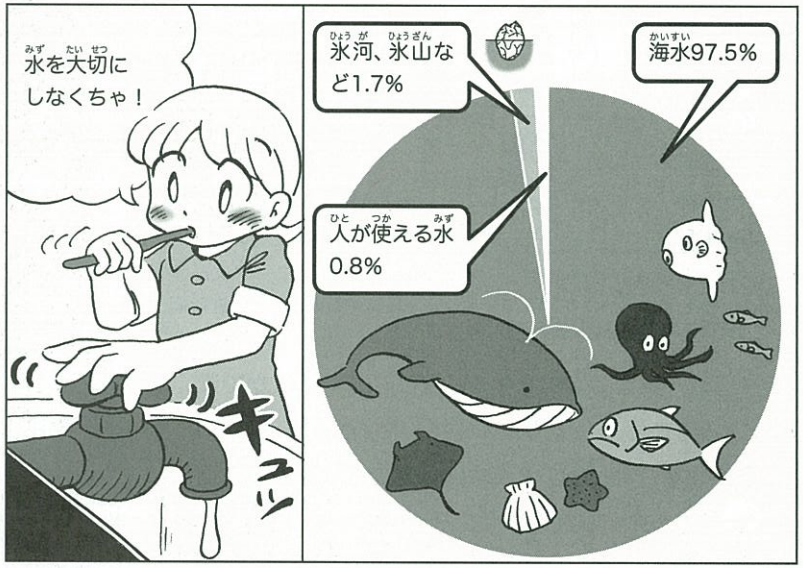
A

地球は「水のわく星」といわれている。世界地図を見ると、地面より海のほうが広くて、水がいっぱいあるように見える。ところが地球にある水をすべてひとつに集めてみると、上の写真のとおり。わかりやすくおおざっぱにくらべると、地球が1mのボールだとすると、水は10cmのボールでしかない。

水は地球の表面を広くおおっているからたくさんあるように見えるけれど、まとめてみるとそんなに多いわけではないんだ。

地球にある水のほとんどが海水人が使える水はごくわずか！

A

さらにびっくりなのが、地球にある水のほとんどが海水やこおった水で、人間に使いやすい水は、ほんの一部でしかないこと。人に使いやすい水は全体の0・01%という人もいるほど。

水は、石油などとはちがい、使ったらなくなるものではない。人が使った水は、やがて川にもどり、海に流れ、じょう発して空気中にもどり、雨や雪としてまた地上にふって人が使えるようになる。だからといって、水をむだ使いしていいわけではない。歯みがきで、1分間水を出しっぱなしにすると、12リットルもの水が使われずに流れてしまう。まずは身近なところから、水をむだなく使うようにしてみよう。